

# KLaSiCa

## 社会変革のための学習・教育

総合地球環境学研究所・阿部健一



**Research Institute for Humanity and Nature (RIHN), Kyoto, Japan**

KLaSiCa

Knowledge, Learning and  
Societal Change

社会変革のための知識と学習・教育



**KLASICA** ALLIANCE

Knowledge, Learning and Societal Change  
An International Research and Action Alliance

Research Institute for Humanity and Nature (RIHN), Kyoto, Japan



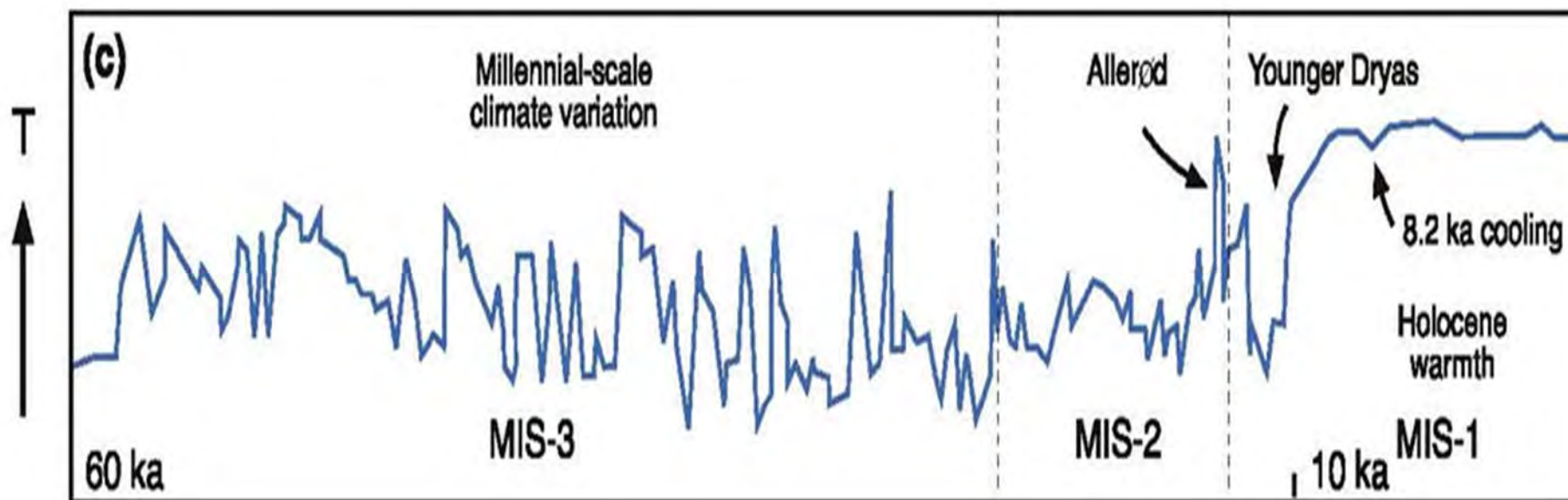
# 環境問題⇒社会変革

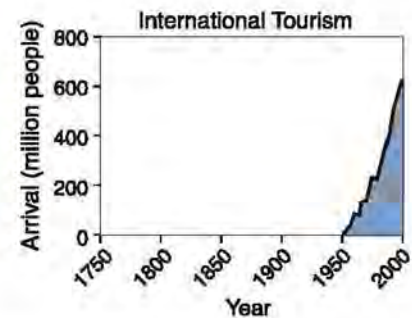
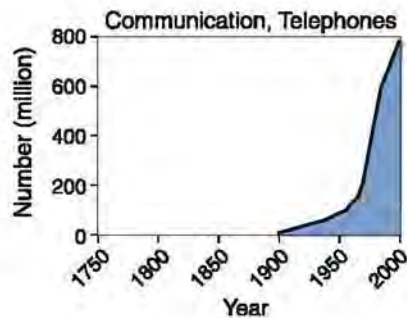
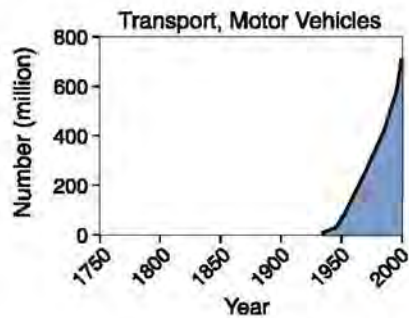
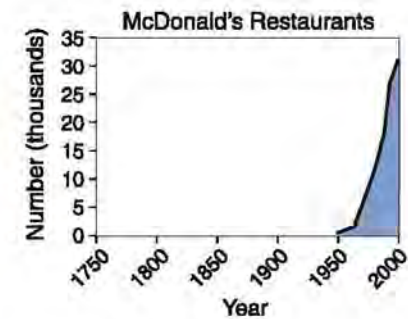
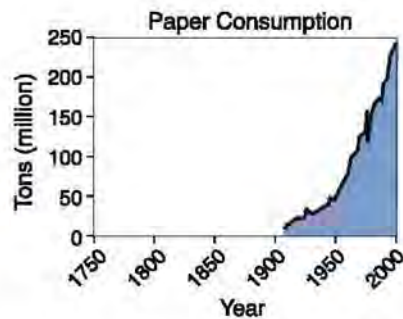
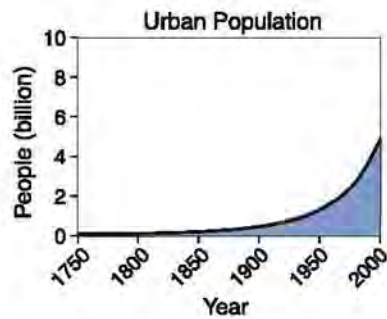
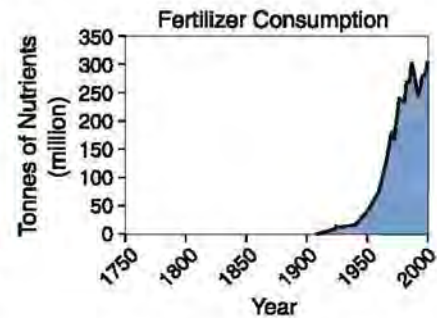
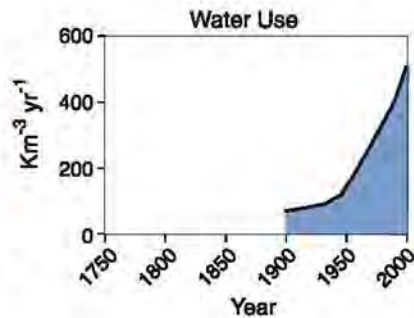
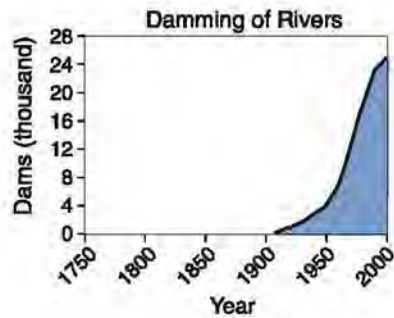
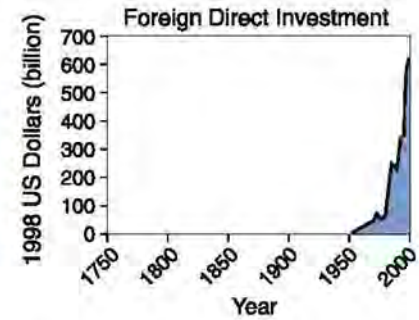
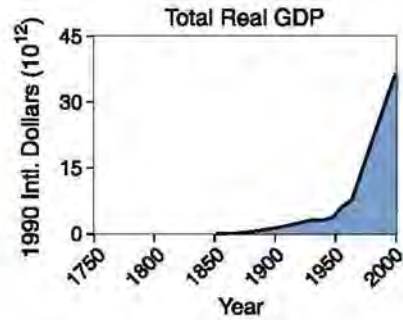
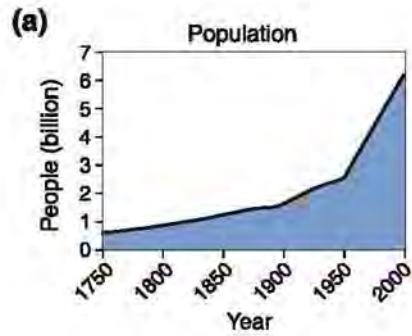
## 社会変革の必要性

### (1) 人新世・人類世 (the Anthropocene)

完新世(1万年前)はすでに終結し、新しい地質学的年代に入った？！

人類の活動が地球の気候・環境に影響する時代

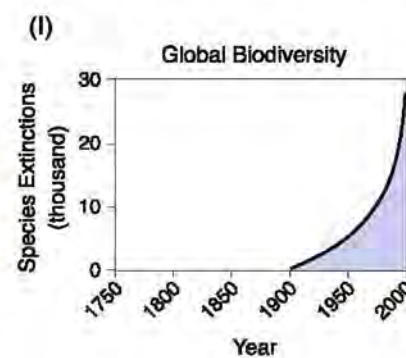
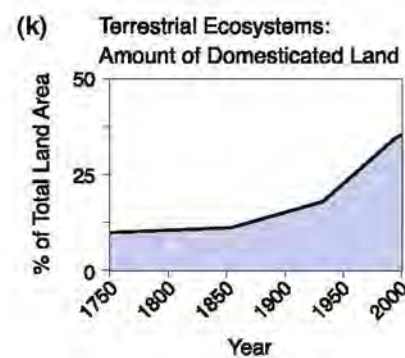
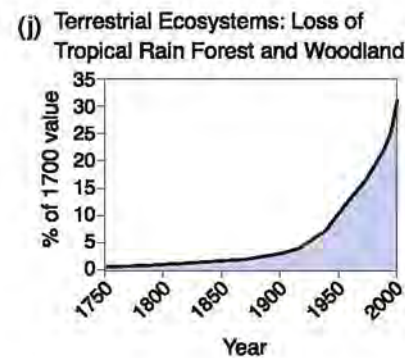
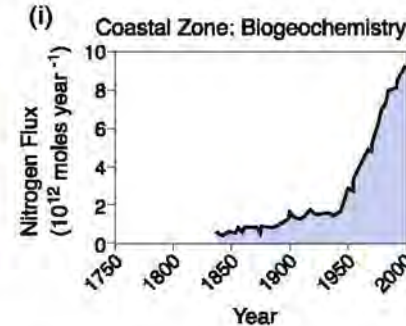
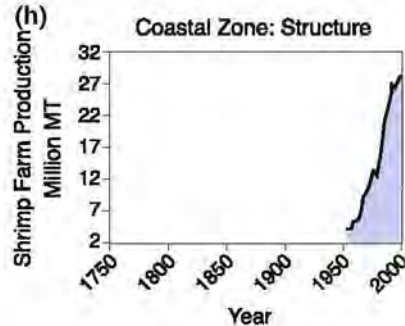
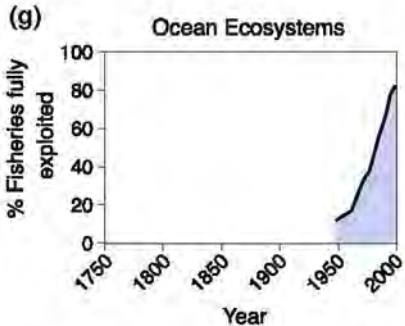
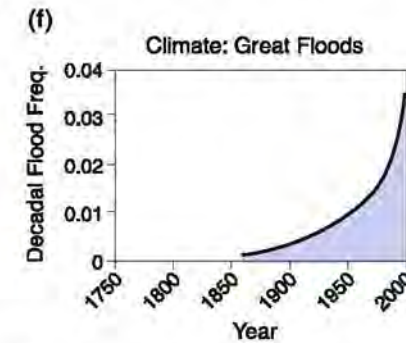
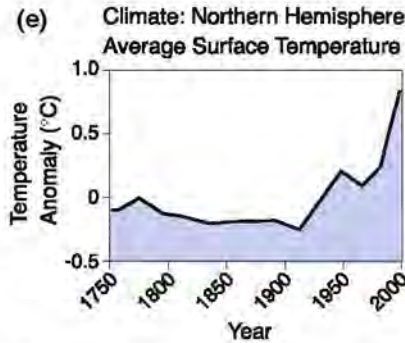
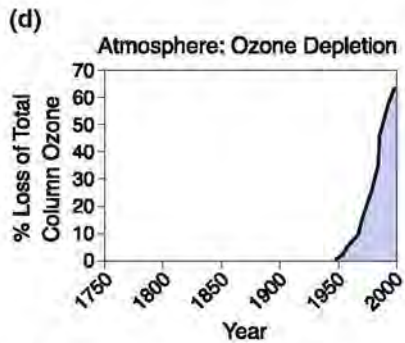
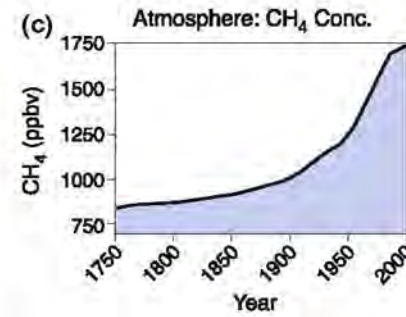
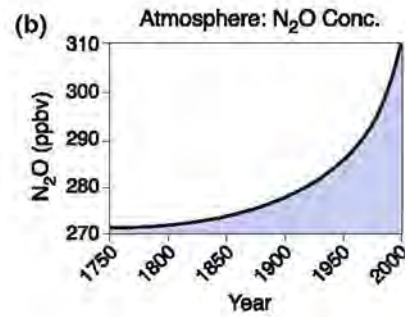
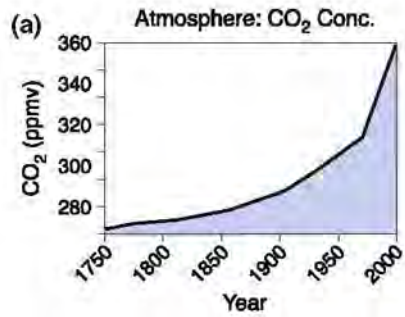




Res







# 環境問題⇒社会変革

## 社会変革の必要性

### (1) 人新世・人類世 (the Anthropocene)

一人一人の日常生活の積み重ね

⇒ ライフスタイルの刷新

### (2) プラネタリー・バウンダリー (地球の境界)

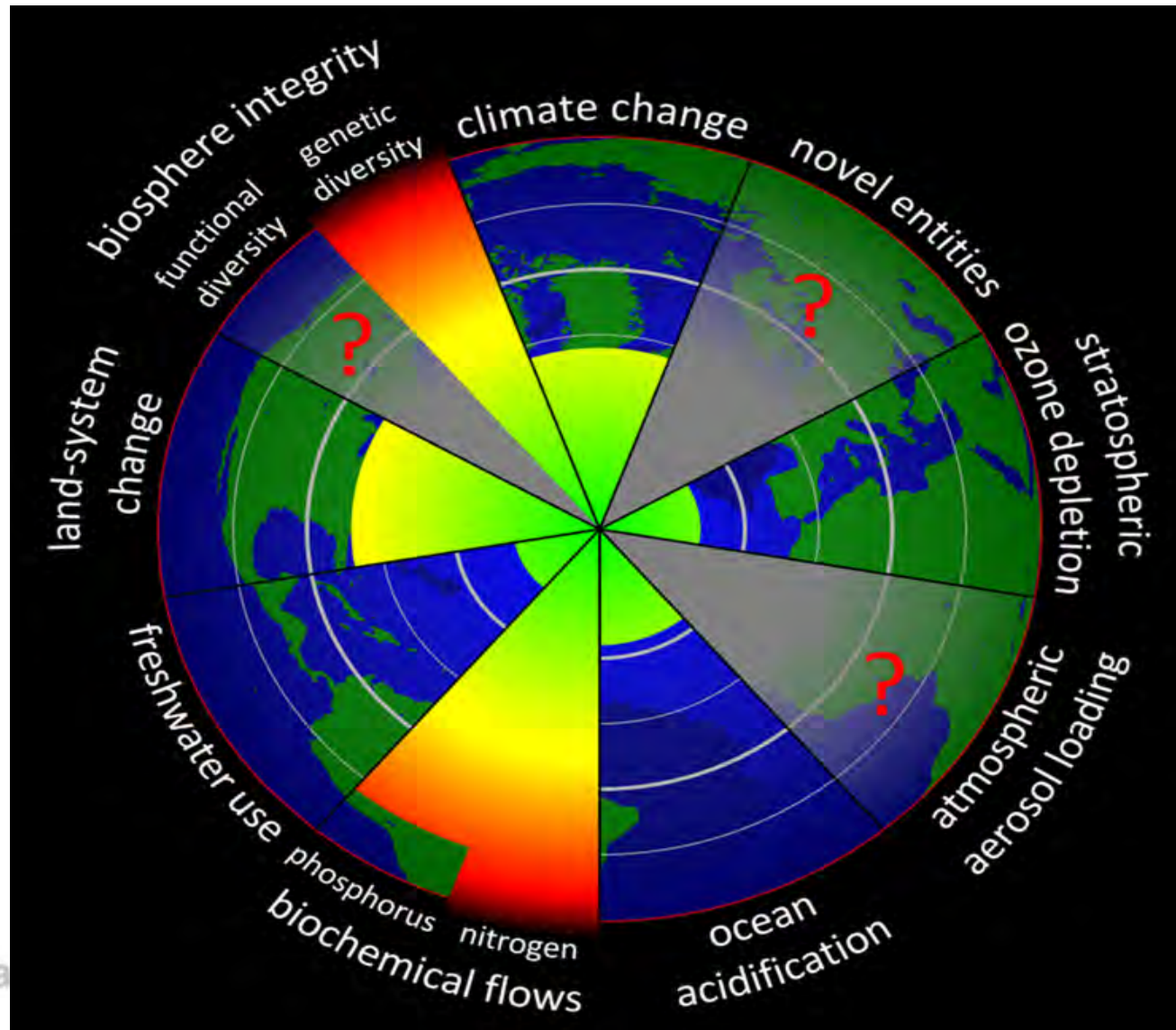
境界内: 未来世代にわたって発展

境界外: 取り返しのつかない環境変化

(Röckstrom, J., et al. (2009); Steffen, W., et al. (2015))



気候変動、海洋の酸性化、オゾンの破壊、窒素とリンの循環、淡水利用、土地利用の変化、生物多様性の減少、大気エアロゾルの負荷、化学物質による汚染



Resea



# 環境問題⇒社会変革

## 社会変革の必要性

- (1) 人新世・人類世 (the Anthropocene)
- (2) プラネタリー・バウンダリー (地球の境界)
- (3) SDG's

危機意識・義務感・経済的損失だけではなく  
ビジョンの提示も社会変革のために必要





# 温暖化対策は生活を脅かす？

温暖化対策は生活の質を向上させる

日本 17%

世界平均 66%

(欧米中 半数 フランス:81% )

国連気候変動枠組み条約事務局(2015)

環境問題の解決を考えることは、  
より豊かな社会に変革してゆくこと



# 地球温暖化は人為的ではないし、 将来起こることはない？

## White man effect

温暖化は人為的要因ではない	58%	(31%)
将来温暖化はおこらない	29%	(7%)

(McCright and Dunlap 2011)

事実・知識ではなく価値判断

イノベーションをおこすためのLearningとは？

KLSC: Knowledge, Learning & Social Change



なぜ社会変革に向かわないのか  
どのようにして社会変革に向かうのか

KLaSiCa

個人の信念 → 「価値」に基づく社会

価値を問う学問

『設計科学』

第18期日本学術会議「新しい学術の体系委員会」

吉田民人委員長



# 認識科学 ↔ 設計科学

## 事実命題

あるものの探求  
「～である」

## 価値命題

あるべきものの探求  
「～であるべき」





# なぜ社会変革に向かわないのか どのようにして社会変革に向かうのか KLaSiCa



Research Institute for Humanity and Nature (RIHN), Kyoto, Japan



# 目的・目標[SDG's]の重要性

危機意識・義務感・経済的損失に代わるものが  
今こそ社会変革のために必要ではないか

『船を造りたいのなら、男どもを森に集めたり、  
仕事を割り振って命令したりする必要はない。  
代わりに、彼らに広大で無限な海の存在を説け  
ばいい。』 サン＝テグジュベリ



# 目標を達成するための物語

UNESCO Narratives of Change Program

純粹に理論的に考えるだけでは、具体的な行動を起こすことはできない。

将来を豊かに想像することが必要である。

「まず想像されなければ変革できないし、さらに言えば、物語に刻まれることがなければ想像されることはない」  
ナラティブ・アプローチ



# 小さな動きを大きなうねりに

小さな物語を大きな物語へ

「価値」に根差しているため、変革のための大きなひとつの動きがあるわけではない

自然科学と人文科学

小さな無数の変革への動き

重要なのは、こうした動きを

つなげてゆくこと

Research Institute for Humanity and Nature (RIHN), Kyoto, Japan

ナレッジ・ネットワークキング





# 無数の小さな物語の事例： 世界農業遺産

農業を変えるためのしかけ(FAO)  
ユネスコの世界遺産の農業版？！

「変える遺産」

経済効率一辺倒の農業への疑問

農業の持つ環境・文化的価値



# 農業

遅れた魅力のない産業：

3K → 5K

「キツイ」「汚い」「かっこ悪い」

＋「稼げない」「結婚できない」

本当にそうなのか 高校生の疑問

若い新規就農者の増加

「農業の魅力」「農業は楽しい」

聞き書き甲子園

「古い世代」の農業の再認識



# あらたな農業の物語

古い世代の経験・実績

+ 若い世代の新しい価値感

⇒ 演劇ワークショップ

地域固有「芸術」による共有



Research

yoto, Japan





